

平成19年10月 1日

淀川水系流域委員会 様

香 水 英 夫

意 見 書

私は高時川と姉川が合流する最下流域の長浜市川道町に65年、湖北の豊かな田園地帯に生活してきました。

日常生活を営む上においては高時川や姉川流域に居住している者は、この河川からの飲料水をはじめ農業用水、漁業等に多大の恩恵を受けており感謝していますが、従来から梅雨期並びに台風期の洪水対応に大きな不安と危惧を抱いている現状であります。

昨年7月19日には今までにない豪雨により高時川下流においては警戒水位2.7メートルを突破し4.5メートル余りを記録、危険水位を超え地域住民は難波橋の桁に水がつかえないかと夜毎心配し、また堤防沿線の各所においては天井川に起因する湧水が噴出し、床下浸水による被害が出る等、平成15年の台風10号、平成10年の台風7号等により地域住民は度重なる洪水に大きな不安を抱いて夜も眠れない状況であります。特に平成2年9月に襲来した台風19号においては、堤防天端一杯に迫る大洪水となり堤防が決壊寸前となり、堤防添えの水路は土砂で埋まり、自治会員総出で復旧作業をしたことが洪水となる度に悪夢として思い出され、天井川の堤防直下に人家が連担している地域住民はたいへん苦慮している状況であります。

水圧は土圧の3倍といわれ一旦破堤すると壊滅的な洪水被害が発生するので、河川に対する防災安全対策には日頃から万全を期すため特に留意しているところであります。

また、夏季においては瀬切れが発生し河川の伏流水を利用した上水道水源が枯渇し、住民に節水を余儀なくされることも多々あり、また干しあがった川原には大量の鮎が斃死し漁業に大きく被害を及ぼし河川環境の不安定さを露呈している有様であり、常に水が琵琶湖へ注ぎ、安定した生活用水の供給や魚が住み潤いのある河川に生まれ変わるよう期待しているところであります。

さて、貴委員会におかれましてはこのような不安定な高時川に対して治水・利水対策として今後どうあるべきかについて種々検討していただいているところであり、最終的な方針を打ち出していただく重要な時期に到来していると聞き及んでいます。

この河川整備計画は高時川上流の丹生ダム計画と一体的にすすめられ、現在ダムの形式等について議論していただいておりますが、地域住民といたしましてもこのダムの建設に向けて長年議論が尽くされてきた経緯があり、年間を通して安定した水量の確保を図ることを第一義として水張りダムについて建設的なご協議を賜り、それに基づく河川改修の計画立案についてご審議いただきたいと願っています。この河川改修計画に当っては高時川・姉川特有の堤外民地がありこの土地については河川管理者に権利委譲されるようご協議賜りたいと切望すると共に、この高時川が従来のような鉄砲水による増水被害、また渇水により川原一面が砂漠化する干害被害河川の両極端な状況を解決し日常生活をも脅かす不安材料を払拭して、長年にわたり訴え続けられてきました地域の意見をも重視した、将来的に禍根のないダム計画並びに河川整備計画を基に、安心・安全な施策を早期に打ち出していただき、災害に強い国土の建設を願って意見書を提出いたします。